

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

こいす1さいじクラス便り

令和5年11月21日

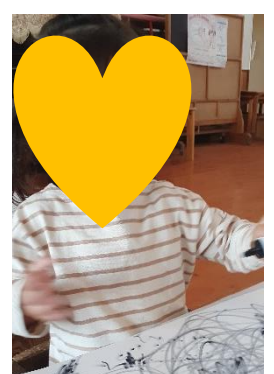
文責：山下 香夏美

日中のぽかぽかとしたお日さまがより暖かく感じられ、日が暮れるのが一段と早くなり朝晩の冷え込み。晩秋の気配が深まる頃となりました。この寒さに打って変わって子ども達は、園庭を駆け回り元気いっぱい遊んでいる姿が見られます。

だんだんと寒さも本格的になってきており、風邪や感染症など体調を崩しやすい季節でもありますので、子ども達はもちろご家庭におかれましても体調を崩さないようお気を付けください。

子どもの様子～今の僕！私！～

先月のお便りには、自分の気持ちを自分の言葉で伝えられるようになってきたことについて書きました。今回は、言葉が増えてどのような園生活を過ごしているのかについてお伝えしたいと思います。普段の生活を送りながらも物の貸し借りの時には「それ、かして」「あとから、かすね」や衣類の着脱など自分でする事が難しい時には「やってください」「てつだってください」など自分で何をしたいか何をして欲しいかを伝えることで相手の受け取り方も違う事を感じました。また、最近では散歩に行くとお友達のところへ行き自分たちから手を繋ごうと誘いに行く姿や道ですれ違う方・畑などで作業されている方に「こんにちは」「おしごとがんばってね」と大きな声で伝えている姿も見られます。また、給食やおやつの中には、「これおいしいね！」とったり2歳児の子どもが給食の先生に作ってくれたことに「ありがとう」と伝えるとその姿を見て1歳児の子ども達も「せんせい！作ってくれてありがとう！」という事もあります。子ども達と話していると言葉で伝えることの大切さを改めて感じることもあります。



☆お願い☆

・気温の寒暖差に伴う衣服の調整ありがとうございます。しかし、名前の記入がされていない衣服があるときがあります。その際、園でも記入をしますが今一度ご家庭のほうでも確認をお願いします。

・寝具にバスタオルを入れられているご家庭はバスタオルは冷感があるため寝る際に冷たさを感じてしまうので抜いていただけるようお願いします。

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵

解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友理子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-5473-5866)